

## 【0049 西田勝収集・平和問題関係資料】

### 資料群概要（フォンドレベルの情報）

作成主体：西田勝

資料群名称：西田勝収集・平和問題関係資料

年代：1964～2010年

要約：

西田勝収集・平和問題関係資料（以下、「本資料群」と略記）は、2008年12月から2021年までに数回に分けて、西田勝氏から法政大学大原社会問題研究所が寄贈を受けたものの一部として、2016年8月25日に大原社会問題研究所から環境アーカイブズに移管されたものである。

資料群の作成年代は1964年から2010年である。本資料群は、反核運動などの平和運動活動家である西田勝氏が作成・収集した資料からなり、平和運動、核・原発問題関連の刊行物が大半を占め、その他日本の戦争責任問題などの刊行物も含まれている。2017年度から整理作業が開始し、目録作成にあたっては、資料の寄贈時の秩序に即してファイル番号が付与された後、シリーズ1平和、シリーズ2核・原発、シリーズ3戦争責任、シリーズ4その他、に目録上で編成がなされた。

総量：16箱（1243ファイル）＊箱13～16は大型資料専用箱

受入番号：0049

言語：日本語、英語、ハンガール語、中国語、ロシア語、ドイツ語、ギリシア語

### 資料群の管理と利用に関する情報

関連する資料群：「西田勝反核資料インデックス」法政大学大原社会問題研究所所蔵。大原社会問題研究所所蔵の「平和ウォッチング」（新聞切り抜き（スクラップブック））の続きが本資料群の中に収められている。

利用の形態：原本利用

整理方法についての情報：

環境アーカイブズRAの洪昌極（2016年度～2019年度）により、目録の作成および目録上で資料編成が行われた。目録は寄贈時の秩序に即して1ファイル単位で作成した。なお、元来ファイリングや封筒詰めをされず単独で存在していた資料は、単独でクリアポケットに収納した。2022年度に環境アーカイブズ担当教員の山本唯人・専門嘱託の宇野淳子が目録の確認・一部加筆を行なった。

引用する場合の表記方法：

「西田勝収集・平和問題関係資料、受入番号0049、各資料ID、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ所蔵」と明記すること。

利用制限：著作権にかかわるものおよび個人情報等を含む資料は、利用を制限する。

作成者の権利について：

所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズが有する。著作権は個々の資料による。

### 作成主体についての情報

西田勝氏は、元法政大学文学部教授であり、文芸評論家・平和運動家。作家の小田実氏らの提唱によって生まれた「現状を考える人びとの会」に出席したのがきっかけとなり、元号法制化反対運動、「日本はこれでいいのか市民連合」の結成、文学者の反核声明など、非核・平和運動に邁進する。さらに「非核大学宣言」と「法政平和大学」の設立、非核練馬区宣言を求める請願書名運動、ピースボート、「日本海・アジア 平和の船」、月刊『非核自治体通信』の創刊、日本社会文学会の戦前日本のアジア・太平洋諸国への侵略や植民地的支配をテーマとした国際シンポジウムの開催、非核自治体全国草の根ネットワークの結成と展開、「今こそ非核法を」運動の提唱など、さまざまな運動にかかわった。1994年3月に法政大学を退職、同年4月に「西田勝・平和研究室」を設立して代表を務めていたが、2021年7月に逝去された。

### 資料群の内容

西田勝氏が収集してきた平和運動、核・原発問題関連の刊行物が大半を占め、その他日本の戦争責任問題などの各種刊行物、ミニコミ、書籍、新聞切り抜きスクラップファイルなどが含まれる。例えば、以下の文献などが挙げられる。シリーズ1 平和には『不戦』不戦兵士・市民の会、1994～2005年までの各号や、第7次戦争犯罪調査団『ベトナム報告』ベトナムにおけるアメリカの戦争犯罪調査日本委員会、1975年がある。シリーズ2 核・原発には『最新情報 食卓にあがった死の灰—チェルノブイリ事故による食品汚染』パート2、原子力資料情報室、1987年や長津功三良『詩集 影たちの証言』セコイア社、1995年がある。シリーズ3 戦争責任には、『宋さんといっしょに』在日の慰安婦裁判を考える会、2008年がある。シリーズ4 その他には「平和ウォッチング」（新聞切り抜き（スクラップブック））などがある。

### 参考文献

西田勝『私の反核日記—1979～1997』日本図書センター、1998年。

整理担当および資料群概要作成者：RA 洪昌極

2019年6月24日

一部加筆：専門嘱託 宇野淳子

2022年10月12日